

平成25年度



# 当初予算の概要

平成25年度 当初予算の基本的方向 ..... 1

I 会計別当初予算の編成状況 ..... 2

II 一般会計当初予算の概要 ..... 4

1 歳入の特徴 ..... 6

2 歳出の特徴 ..... 8

【一般会計当初予算グラフ】 ..... 9

【資料編】 ..... 10

## 当初予算主要事業

1 大竹を愛する人づくり ..... 12

2 生活基盤が整ったまちづくり ..... 13

3 安全なまちづくり ..... 17

4 安心できるまちづくり ..... 18

5 心にゆとりを感じるまちづくり ..... 22

6 行政・社会の仕組みづくり ..... 23

7 住みたい、住んでよかったと感じるまち ..... 24

◎ 生活環境整備実施MAP ..... 25

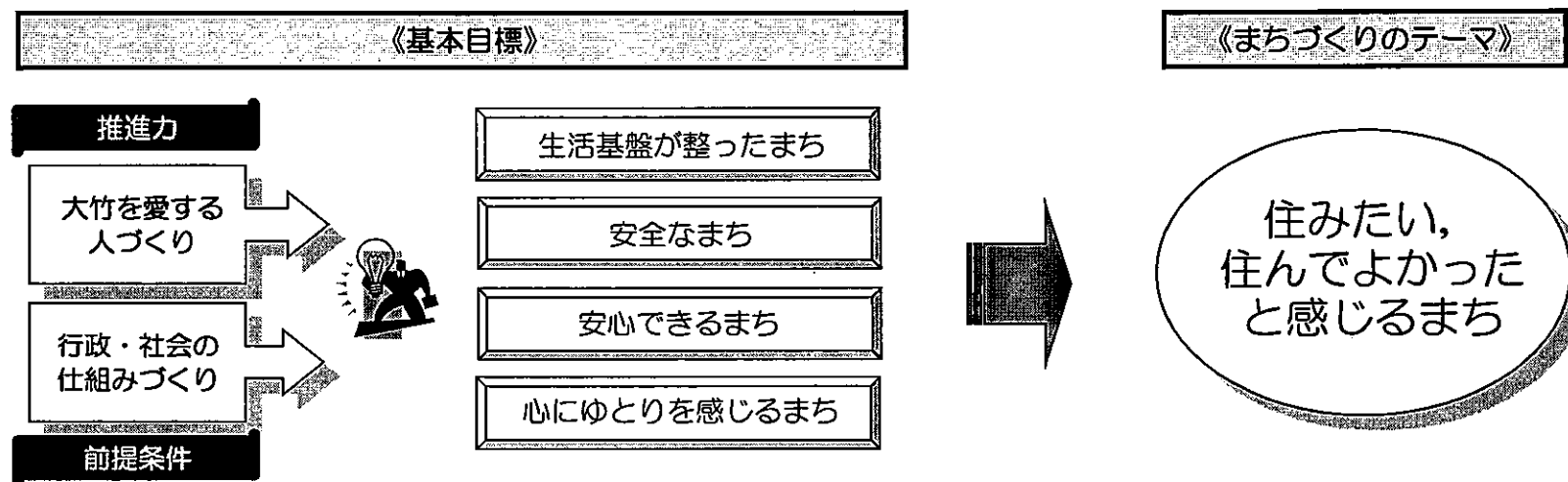
◎ 各施設のご案内 ..... 26

問い合わせ先一覧 ..... 28

大 竹 市

## 平成25年度当初予算の基本的方向

1 第五次大竹市総合計画では、基本構想において「住みたい、住んでよかったと感じるまち」をまちづくりのテーマとして設定しています。市民のみなさんが考える「よいまち」の実現に向けた施策を展開していきます。



2 予算編成にあたっては、上記の基本目標に向けた重点的な取り組みを行うとともに、まちづくりのための施策の前提となる、健全な行財政運営の推進などの「行政・社会の仕組みづくり」を行い、すべての施策の推進力としての「大竹を愛する人づくり」に重点を置くことで、将来にわたりまちづくりに取り組むことの出来る財政運営を目指します。

生涯幸せに生活するために必要な安心安全のための取り組み、「健康」に対する予防施策や、施設の長寿命化、地域活動の促進などの施策に重点を置き、駐留軍等再編交付金をはじめとする財源を有効に活用し、将来的に安定したまちづくりのための財政の枠組みを保つよう実行していきます。

# I 会計別当初予算の編成状況

一般会計の予算規模は、136億6,931万円で、前年度に比べ5.1%減となりました。7つの特別会計の合計は、76億7,377万7千円で、前年度の特別会計の合計から、4.7%増です。一般会計と特別会計の合計は213億4,308万7千円で、前年度に比べ1.8%の減となっています。

一般会計は、生活保護費等の扶助費や工場等設置奨励金などが増加したものの、小方小学校・小方中学校移転改築事業などの投資的経費が減少したことなどにより、前年度比5.1%減の予算となりました。

## ◎◎◎ 会計別予算 ◎◎◎

単位:千円, %

	25年度	24年度	対前年度比	
			増減額	増減率
一般会計	13,669,310	14,400,188	△ 730,878	△ 5.1
特別会計	7,673,777	7,332,724	341,053	4.7
1 国民健康保険特別会計	3,705,284	3,453,745	251,539	7.3
2 漁業集落排水特別会計	32,349	29,070	3,279	11.3
3 農業集落排水特別会計	43,973	42,167	1,806	4.3
4 港湾及び漁港施設管理受託特別会計	60,762	55,774	4,988	8.9
5 土地造成特別会計	833,608	924,689	△ 91,081	△ 9.8
6 介護保険特別会計	2,585,248	2,431,270	153,978	6.3
7 後期高齢者医療特別会計	412,553	396,009	16,544	4.2
合計	21,343,087	21,732,912	△ 389,825	△ 1.8

## 《企業会計》

単位:千円, %

		25年度	24年度	対前年度比	
				増減額	増減率
水道事業会計					
収益的	収入	518,767	519,445	△ 678	△ 0.1
	支出	517,724	513,373	4,351	0.8
資本的	収入	62,518	71,588	△ 9,070	△ 12.7
	支出	167,385	186,303	△ 18,918	△ 10.2
工業用水道事業会計					
収益的	収入	492,872	577,631	△ 84,759	△ 14.7
	支出	518,068	527,224	△ 9,156	△ 1.7
資本的	収入	192,517	224,517	△ 32,000	△ 14.3
	支出	437,277	461,145	△ 23,868	△ 5.2
公共下水道事業会計					
収益的	収入	772,601	777,684	△ 5,083	△ 0.7
	支出	766,852	772,612	△ 5,760	△ 0.7
資本的	収入	432,004	596,763	△ 164,759	△ 27.6
	支出	712,098	885,534	△ 173,436	△ 19.6

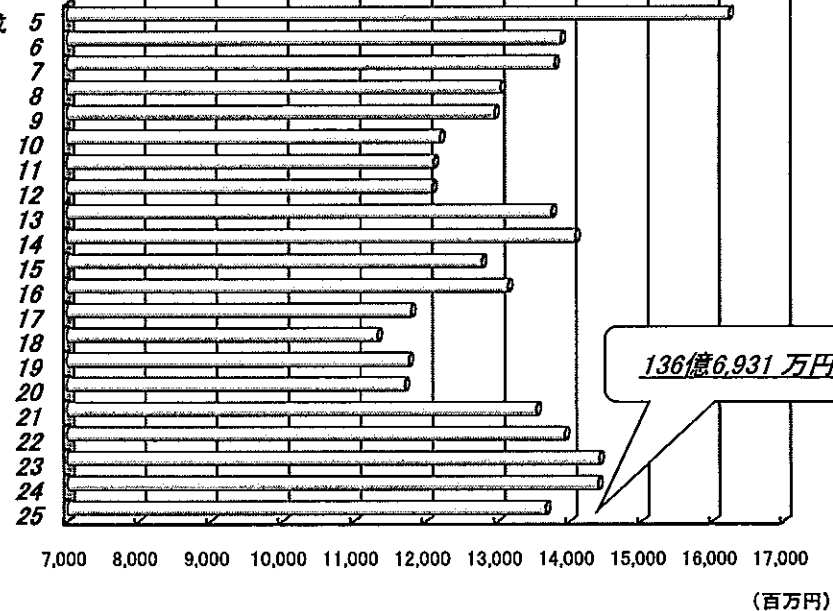
# 【一般会計当初予算の推移】

単位:千円, %

年 度	当初予算規模	対前年度伸び率	《参考》最終予算額
5	16,241,853	15.5	17,242,949
6	13,889,956	△ 14.5	13,870,385
7	13,803,861	△ 0.6	14,581,664
8	13,048,192	△ 5.5	14,050,875
9	12,965,635	△ 0.6	13,223,610
10	12,211,020	△ 5.8	14,427,535
11	12,121,383	△ 0.7	14,456,844
12	12,102,194	△ 0.2	12,324,258
13	13,761,143	13.7	15,373,572
14	14,087,867	2.4	14,265,959
15	12,786,158	△ 9.2	12,032,324
16	13,148,777	2.8	13,364,554
17	11,803,360	△ 10.2	12,440,260
18	11,338,627	△ 3.9	11,692,281
19	11,770,193	3.8	12,269,904
20	11,716,260	△ 0.5	12,798,330
21	13,541,552	15.6	15,270,309
22	13,939,452	2.9	14,545,921
23	14,417,001	3.4	14,995,090
24	14,400,188	△ 0.1	14,998,838
25	13,669,310	△ 5.1	—

(年度)

平成 5



## Ⅱ 一般会計当初予算の概要

第五次総合計画の基本構想で掲げるまちづくりのテーマ「住みたい、住んでよかったと感じるまち」の基本目標としての「生活基盤が整ったまち」「安全なまち」「安心できるまち」「心にゆとりを感じるまち」づくりに向けた施策を中心に編成しました。

生活保護費など扶助費が増加していますが、新校舎の建設などを行う小方小学校・小方中学校移転改築事業やみどり児童クラブ建設事業の減により、予算総額は前年度比5.1%の減となりました。これまでと同様に「大竹を愛する人づくり」をすすめるとともに、施設の長寿命化や、予防施策に重点的に資源の配分を行うことで、将来の行政需要の増加の抑制に努めています。

また、一般会計から土地造成特別会計への支援を、平成18年度から行っています。平成25年度も引き続き大竹工業団地及び、小方ヶ丘団地からの税収入を財源とする支援に加え、土地造成特別会計に関連のある土地売却収入の一部を繰り出し、特別会計の財政の健全化を図るなど「行政・社会の仕組みづくり」についてもこれまでと同様考え続けていきます。

## ◎◎◎ 歳入予算(一般会計) ◎◎◎

単位:千円, %

		25年度		24年度	対前年度比	
			構成比		増減額	増減率
1	市 税	5,440,354	39.8	5,449,737	△ 9,383	△ 0.2
2	地 方 譲 与 税	76,247	0.6	79,718	△ 3,471	△ 4.4
3	利 子 割 交 付 金	10,311	0.1	10,931	△ 620	△ 5.7
4	配 当 割 交 付 金	6,498	0.0	7,202	△ 704	△ 9.8
5	株式等譲渡所得割交付金	1,659	0.0	2,109	△ 450	△ 21.3
6	地方消費税交付金	272,908	2.0	292,933	△ 20,025	△ 6.8
7	自動車取得税交付金	23,667	0.2	31,509	△ 7,842	△ 24.9
8	地方特例交付金	11,254	0.1	11,254	0	0.0
9	地 方 交 付 税	1,447,650	10.6	1,526,995	△ 79,345	△ 5.2
10	交通安全対策特別交付金	5,218	0.0	5,618	△ 400	△ 7.1
11	分担金及び負担金	233,637	1.7	221,512	12,125	5.5
12	使用料及び手数料	311,753	2.3	250,498	61,255	24.5
13	国 庫 支 出 金	1,758,311	12.9	2,012,659	△ 254,348	△ 12.6
14	県 支 出 金	685,379	5.0	729,361	△ 43,982	△ 6.0
15	財 産 収 入	51,753	0.4	155,804	△ 104,051	△ 66.8
16	寄 附 金	72,003	0.5	4	71,999	1,799,975.0
17	繰 入 金	881,203	6.4	1,009,688	△ 128,485	△ 12.7
18	繰 越 金	1	0.0	1	0	0.0
19	諸 収 入	547,197	4.0	523,742	23,455	4.5
20	市 債	1,832,307	13.4	2,078,913	△ 246,606	△ 11.9
合 計		13,669,310	100.0	14,400,188	△ 730,878	△ 5.1

◎◎◎ 歳出予算(一般会計) ◎◎◎

単位:千円, %

		25年度		24年度	対前年度比	
			構成比		増減額	増減率
1	議会費	196,523	1.4	202,391	△ 5,868	△ 2.9
2	総務費	1,561,613	11.4	1,378,710	182,903	13.3
3	民生費	3,777,605	27.6	3,754,252	23,353	0.6
4	衛生費	1,122,052	8.2	1,071,088	50,964	4.8
5	労働費	141,852	1.0	120,050	21,802	18.2
6	農林水産業費	179,810	1.3	231,993	△ 52,183	△ 22.5
7	商工費	463,061	3.4	385,306	77,755	20.2
8	土木費	2,701,383	19.8	2,077,930	623,453	30.0
9	消防費	502,873	3.7	439,547	63,326	14.4
10	教育費	957,882	7.0	2,761,044	△ 1,803,162	△ 65.3
11	災害復旧費	4	0.0	4	0	0.0
12	公債費	2,044,652	15.0	1,957,873	86,779	4.4
13	予備費	20,000	0.2	20,000	0	0.0
合 計		13,669,310	100.0	14,400,188	△ 730,878	△ 5.1

▼▲▼ 歳出の性質別分析(一般会計)▼▲▼

単位:千円, %

		25年度		24年度	対前年度比	
			構成比		増減額	増減率
義 務 的 経 費 計	人件費	2,545,046	18.6	2,508,845	36,201	1.4
	扶助費	1,989,839	14.5	1,916,708	73,131	3.8
	公債費	2,044,652	15.0	1,957,873	86,779	4.4
	義 務 的 経 費 計	6,579,537	48.1	6,383,426	196,111	3.1
投 資 的 経 費 計	普通建設事業費	2,045,914	15.0	2,878,166	△ 832,252	△ 28.9
	うち補助事業	831,913	6.1	1,386,549	△ 554,636	△ 40.0
	うち単独事業	1,214,001	8.9	1,491,617	△ 277,616	△ 18.6
	災害復旧事業費	4	0.0	4	0	0.0
そ の 他 の 経 費 計	投 資 的 経 費 計	2,045,918	15.0	2,878,170	△ 832,252	△ 28.9
	物件費	1,797,403	13.1	1,751,072	46,331	2.6
	維持補修費	257,590	1.9	296,132	△ 38,542	△ 13.0
	補助費等	1,050,394	7.7	1,032,696	17,698	1.7
	繰出金	1,350,565	9.9	1,454,539	△ 103,974	△ 7.1
	投資及び出資金	0	0.0	0	0	0.0
	貸付金	396,430	2.9	398,370	△ 1,940	△ 0.5
	積立金	171,473	1.3	185,783	△ 14,310	△ 7.7
	予備費	20,000	0.1	20,000	0	0.0
そ の 他 の 経 費 計		5,043,855	36.9	5,138,592	△ 94,737	△ 1.8
合 計		13,669,310	100.0	14,400,188	△ 730,878	△ 5.1

## 1 歳入の特徴

【一般財源】 対前年度 41.0百万円減(△0.5%)

単位:百万円, %

- ◎ 国の示した25年度の地方財政計画では、一般財源総額を24年度と同水準としています。
- ◎ 25年度の市税と地方交付税(臨時財政対策債を含む)の合計は、市税及び地方交付税が減少したものの、臨時財政対策債の増加などにより、前年度とほぼ同額の水準を確保しており、0.3%の減となっています。
- ◎ 一般財源の総額は0.5%の減となります。(この一般財源総額のうち、「貯蓄の取り崩し」にあたる財政調整基金と減債基金からの繰入金577百万円(24年度は623百万円)を除くと0.1%の増となります。)

	25年度	24年度	増減率
市税	5,440.4	5,449.7	△ 0.2
地方交付税	1,447.7	1,527.0	△ 5.2
臨時財政対策債	723.7	655.6	10.4
小 計	7,611.8	7,632.3	△ 0.3
その他	1,126.9	1,147.4	△ 1.8
一般財源総額	8,738.7	8,779.7	△ 0.5

【市 税】 対前年度 9.3百万円減(△0.2%)

単位:百万円, %

- ◎ 25年度の市税は法人市民税や市たばこ税が増収するものの、固定資産税の減収により24年度に比べ0.2%の減と見込んでいます。
- ◎ 法人市民税は、24年度に比べ11.7%の増を見込んでいます。
- ◎ 固定資産税は、市内企業の設備投資があるものの、減価償却による帳簿価格下落の影響で、前年度に引き続き償却資産分が減額となる見込みです。

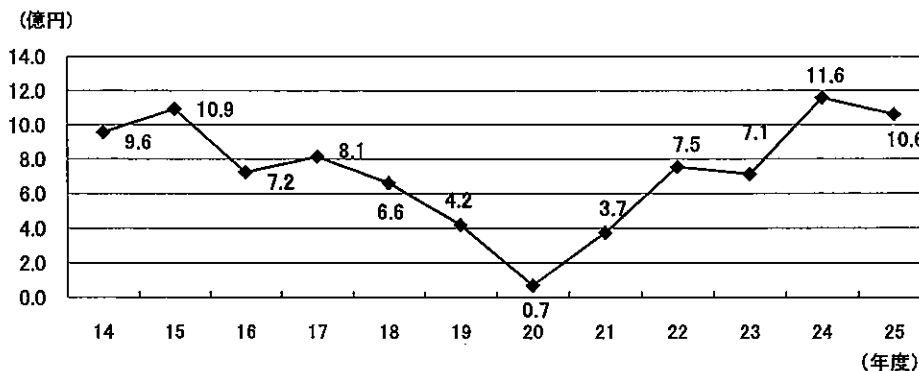
	25年度	24年度	増減率
市民税(個人)	1,281.2	1,268.7	1.0
(法人)	420.3	376.4	11.7
固定資産税	3,337.9	3,436.4	△ 2.9
軽自動車税	51.4	51.6	△ 0.4
市たばこ税	204.8	172.2	18.9
都市計画税	144.8	144.4	0.3
市税合計	5,440.4	5,449.7	△ 0.2

※資料編(P10)に市税収入の推移のグラフあり

【地方交付税】 対前年度 79.3百万円減(△5.2%)

- ◎ 国の示した25年度の地方財政計画では、地方交付税は前年度比2.2%の減となっています(地方税などと合わせた一般財源としては0.2%の増)。
- ◎ 大竹市の地方交付税は、臨時財政対策債等の増加により、当初予算比では5.2%の減を見込んでいます。  
24年度は市税の増収などの影響により、予算額を下回る見込みです。

普通交付税の推移 ※23年度までは決算額(24,25年度は予算)



【市 債】 対前年度 246.6百万円減(△11.9%)

単位:百万円, %

- ◎ 地方交付税の補てん分としての臨時財政対策債が増加したものの、小方小・中学校移転改築事業、みどり児童クラブ建設事業の減少により建設事業債が減少したことから、前年度比11.9%減となりました。

	25年度	24年度	増減率
通常債(建設債)	1,108.6	1,423.3	△ 22.1
臨時財政対策債	723.7	655.6	10.4
市債合計	1,832.3	2,078.9	△ 11.9

※資料編(P11)に市債発行額、市債残高の推移のグラフあり

【基金繰入金】 対前年度 127.0百万円減(△12.8%)

単位:百万円, %

- ◎ 「市の純粋な貯蓄」といべき財政調整基金と減債基金の残高合計は、23年度末で約1,436.9百万円です。24年度決算では約200百万円の取り崩しを見込んでいます。25年度当初予算では、863.4百万円の取り崩しを見込んでいます。

	25年度	24年度	増減率
財政調整基金	197.0	173.4	13.6
減債基金	380.0	450.0	△ 15.6
その他の基金	286.4	367.0	△ 22.0
基金繰入金合計	863.4	990.4	△ 12.8

※資料編(P10)に財政調整基金残高の推移のグラフあり

- ◎ 再編交付金をもとに積み立てた各種基金(阿多田診療所基金、にこにここども基金、健やか安心基金、高度情報化基金、教育環境充実基金、公共交通活性化基金)についても、貴重な財源として計画的に活用します。  
その他、特定の目的のために使うことができる基金についても計画的に活用します。

【その他の歳入】

国庫支出金 〔増の要因〕 生活保護費国庫負担金の増  
254.3百万円減  
(△12.6%) 防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金の増  
社会資本整備総合交付金の増

〔減の要因〕 公立学校施設整備費国庫負担金の減  
防衛施設周辺防音事業国庫補助金の減  
再編交付金の減  
子育て支援交付金の減

県支出金 〔増の要因〕 県知事、参議院議員選挙費県負担金の増  
44.0百万円減  
(△6.0%) 安心こども基金特別対策事業費県補助金の増  
緊急雇用対策基金事業県補助金の増

〔減の要因〕 介護基盤緊急整備等基金県補助金の減  
子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業交付金の減  
放課後児童クラブ整備費県補助金の減

財産収入

104.1百万円減  
(△66.8%)

土地売却収入の減

〔 ※岩国大竹道路事業にかかる代替地の売却収入の減 〕



## 2 歳出の特徴

### 《性質別分析》

【義務的経費】 対前年度 196.1百万円増(3.1%)

単位:百万円, %

- ◎ 人件費は、職員数増や委員等報酬増の影響などにより、増加しています。
- ◎ 扶助費は、生活保護費などの増加により、前年度比3.8%の増となっています。

	25年度	24年度	増減率
人件費	2,545.0	2,508.8	1.4
扶助費	1,989.8	1,916.7	3.8
公債費	2,044.7	1,957.9	4.4
義務的経費計	6,579.5	6,383.4	3.1

※資料編(P10, 11)に人件費及び公債費の推移のグラフあり

- ◎ 公債費は21年度に発行した大竹小学校改築事業債や臨時財政対策債など、新たに元金償還が加わるため増加しています。

【投資的経費】 対前年度 832.3百万円減(△28.9%)

単位:百万円, %

- ◎ 投資的経費は、小方小学校・小方中学校移転改築事業やみどり児童クラブ建設事業の減により、減少しています。
- ◎ 市道の整備・改良事業については、優先順位に基づき計画的に実施しています。

	25年度	24年度	増減率
普通建設事業費	2,045.9	2,878.2	△ 28.9
うち補助事業	831.9	1,386.6	△ 40.0
うち単独事業	1,214.0	1,491.6	△ 18.6
災害復旧事業費	0.0	0.0	0.0

※資料編(P11)に投資的経費の推移のグラフあり

- ◎ 投資的事業については、後年度の負担が過度に増加しないように考慮しつつ、必要な新規事業は財源を確保した上で取り組む方針です。

### 《目的別内訳》

議会費 [減の要因] 議員共済組合負担金の減

5.9百万円減  
(△2.9%)

総務費 [増の要因] 木野集会所建設工事費の増  
県知事、参議院議員選挙費の増

182.9百万円増  
(13.3%)

[減の要因] 基幹システム更新事業の減

民生費 [増の要因] 生活保護費など扶助費の増  
福祉施設開設等補助費の増

23.4百万円増  
(0.6%)

[減の要因] 地域介護・福祉空間整備事業費の減

衛生費 [増の要因] 予防接種費用の増

51.0百万円増  
(4.8%)

三次救急医療施設運営費共同補助負担金の増  
公衆便所設置事業費の増  
ごみ処理手数料の導入によるごみ減量施策の増

[減の要因] PCB含有蛍光灯等処理業務の減

労働費 [増の要因] 緊急雇用対策事業の増

21.8百万円増  
(18.2%)

農林水産業費 [減の要因] 漁礁整備工事費の減

52.2百万円減  
(△22.5%)

商工費 [増の要因] 工場等設置奨励金、産業振興奨励金の増

77.8百万円増  
(20.2%)

土木費 [増の要因] 晴海臨海公園整備事業の増

623.5百万円増  
(30.0%)

市営住宅改修工事費の増  
大竹駅東口整備事業の増

消防費 [増の要因] 消防車両整備事業の増

63.3百万円増  
(14.4%)

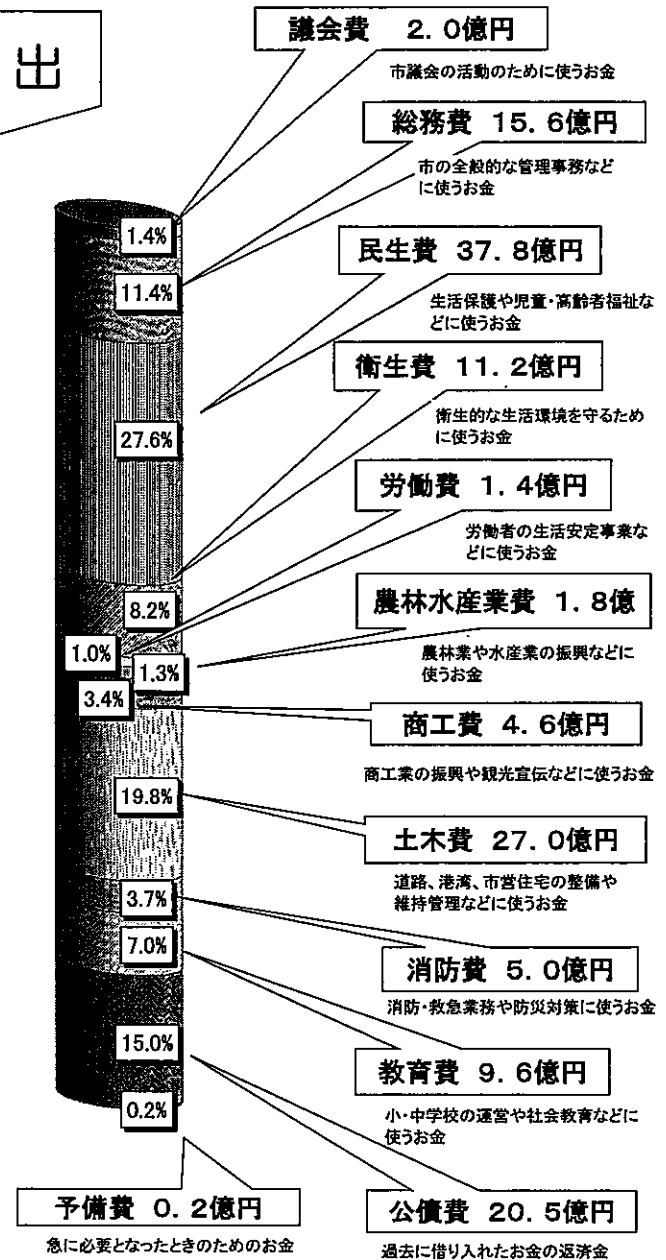
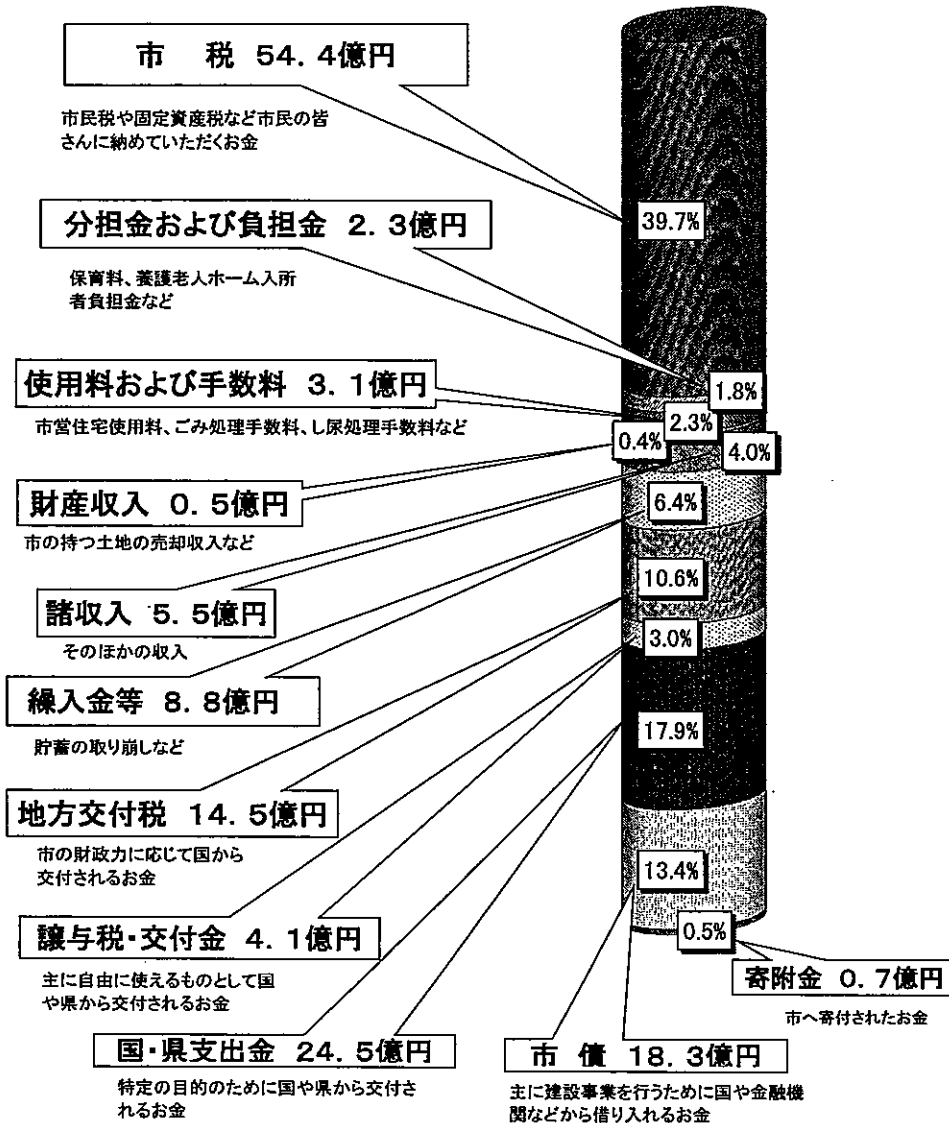
教育費 [減の要因] 小方小学校・小方中学校移転改築事業の減  
みどり児童クラブ建設事業の減

1,803.2百万円減  
(△65.3%)

# 一般会計当初予算 総額136.7億円

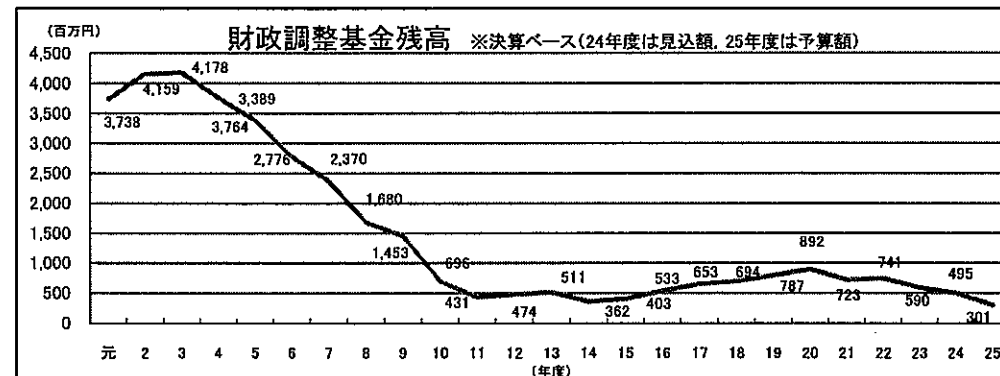
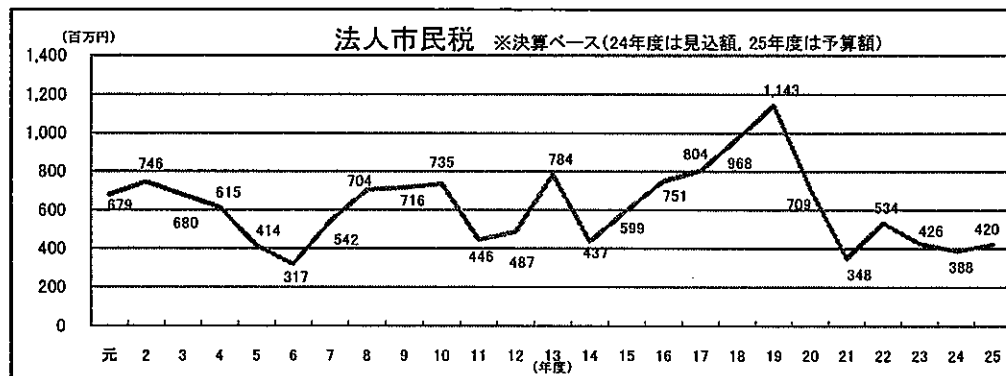
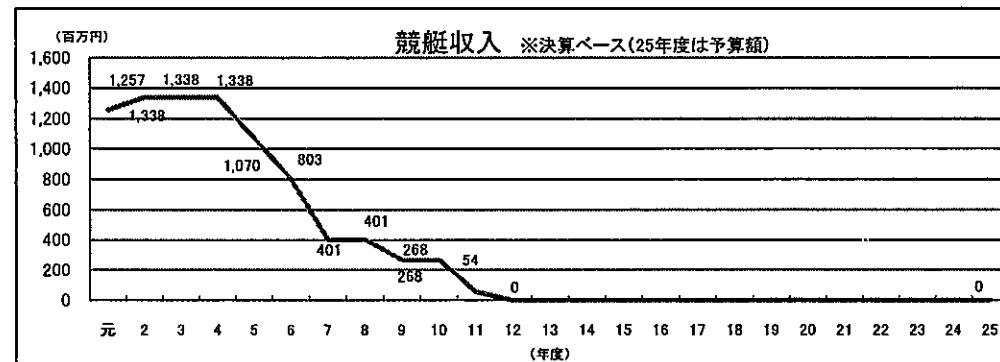
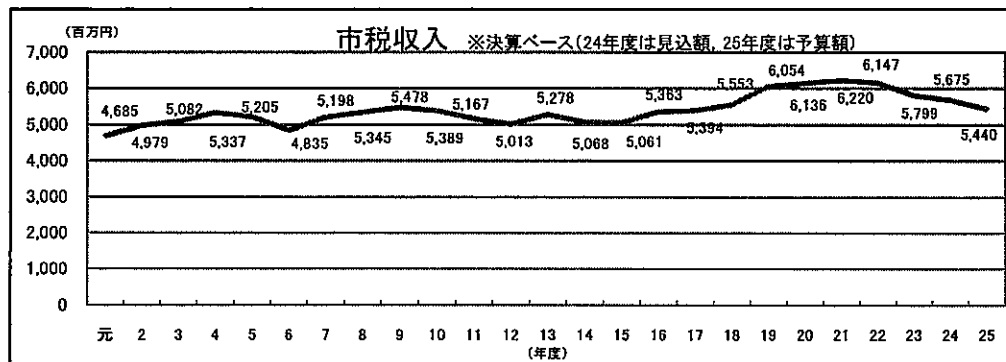
## 歳入

## 歳出

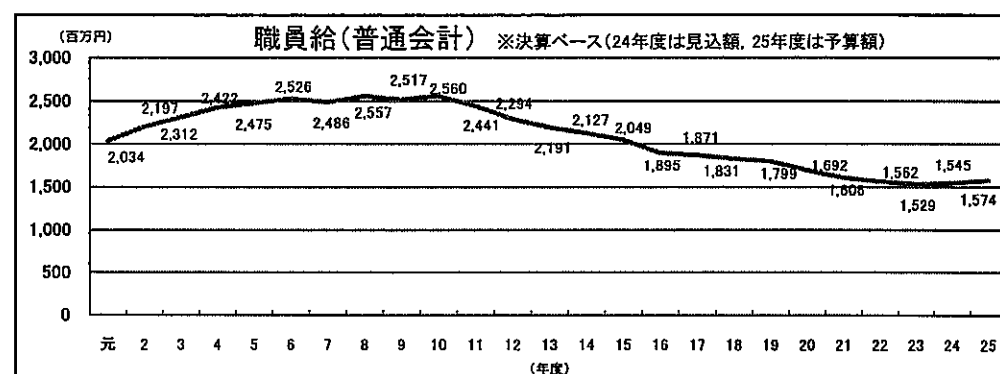
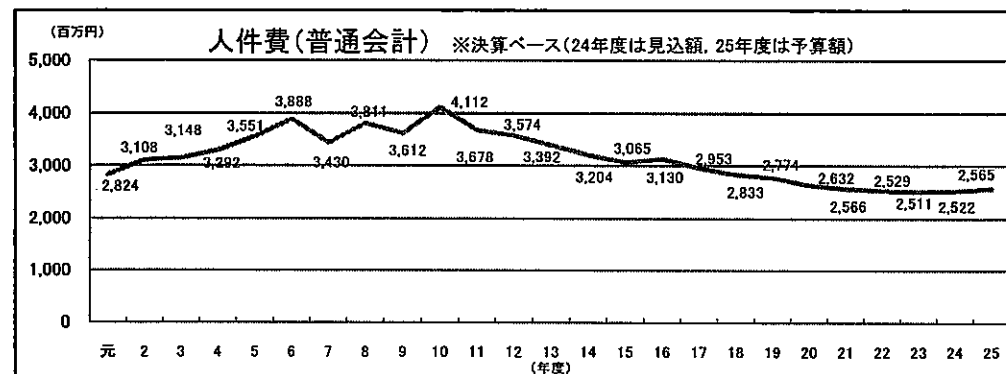


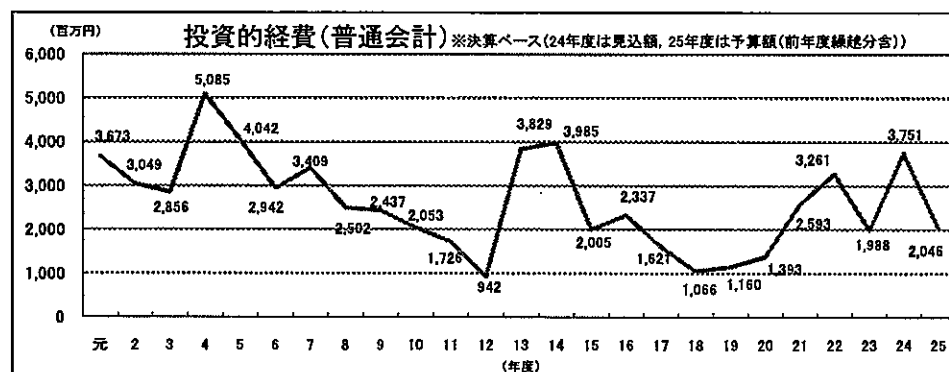
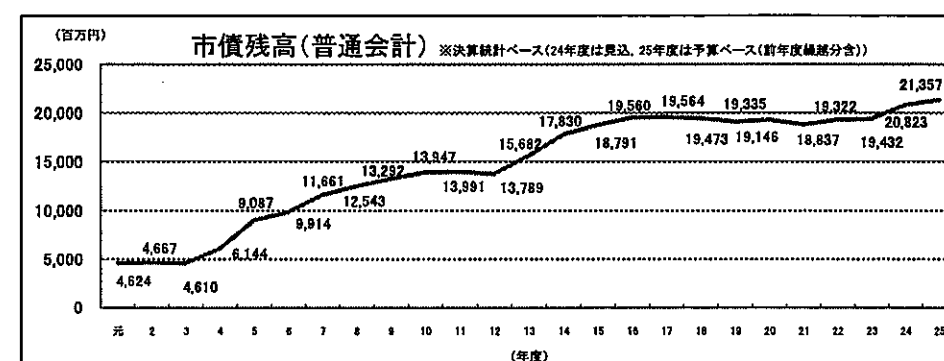
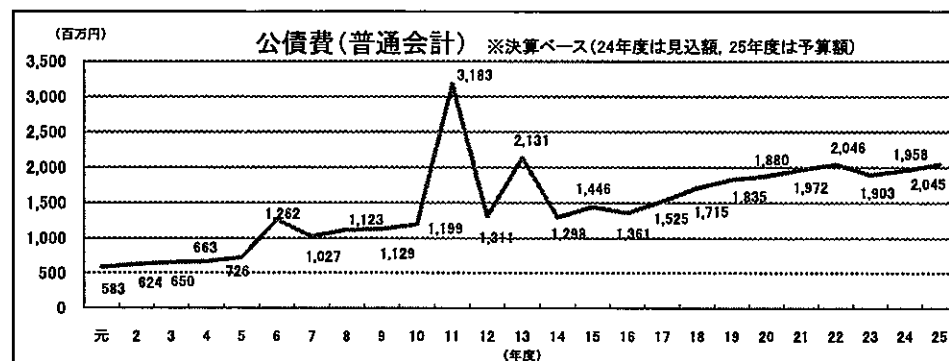
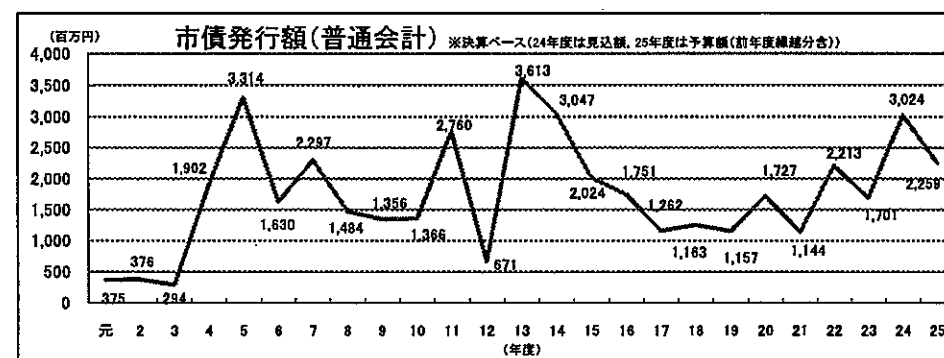
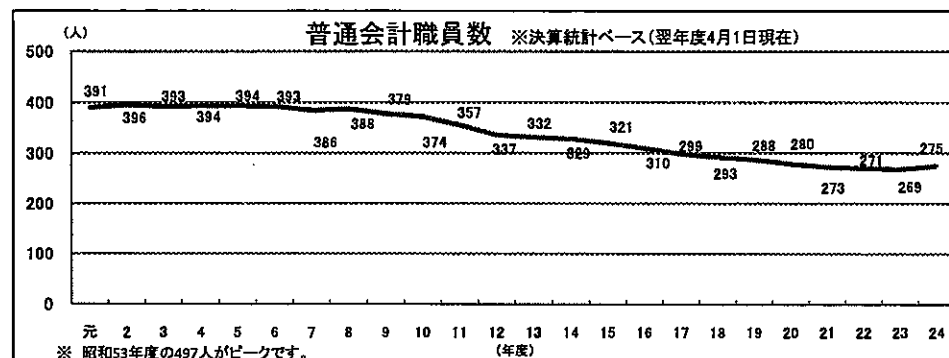
## 当初予算の概要 資料編(平成元年度～)

### 1. 歳入に関する事項

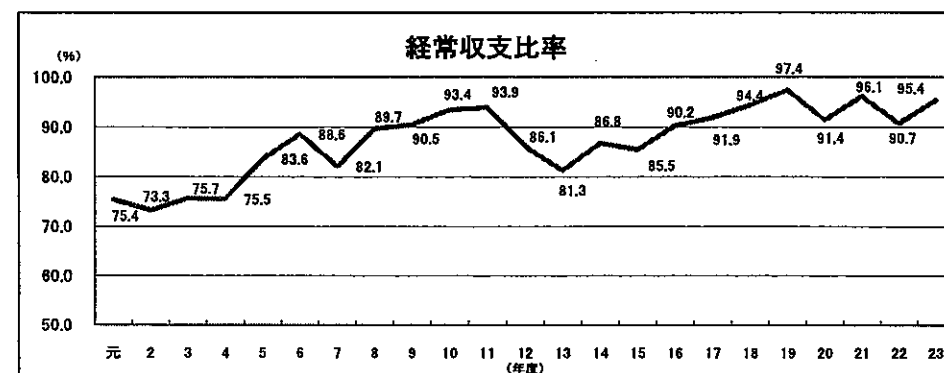


### 2. 歳出に関する事項





### 3. 財務指数に関する事項



# 当初予算主要事業

わがまちプランにおける【将来像】

～ 笑顔・元気 かがやく大竹 ～

事業名に 新規 … 平成25年度に新規に行う事業です。

事業名に 拡充 … 制度などが前年度と比較し拡充される事業です。

( )は平成24年度の担当課を記載しています。

## 1 大竹を愛する人づくり



地域を担う人づくり



互いを尊重し、支え合う人づくり

### 新規 市制60周年記念事業

3,000 千円 予算書 43 担当 企画財政課

大竹市は平成26年9月1日に市制施行60周年を迎えます。この記念すべき日を、前1年間（平成25年9月～平成26年8月）で周知し、盛り上げる期間とします。

また同時に、わがまちプランの理念を広める年と位置付けます。具体的には、わがまちプランの重点取組方向のうち、特に「市民主体のまちづくりの推進」・「生涯元気な心と体づくり」の方向性を強く推し進め、「笑顔・元気がやく大竹」の実現に資する事業を、各課を通じて募集し展開していきます。

### 新規 学習環境サポート事業

20,000 千円 予算書 135 担当 総務学事課

普通学級に在籍する発達障害等の児童生徒へのサポートのため、小・中学校に学習支援員を配置します。

### 新規 大竹小学校グラウンド整備事業

67,500 千円 予算書 139～140 担当 総務学事課

給食センターの完成により不要になる給食棟を解体します。解体後の跡地はグラウンドとして整備をし、児童の活動の場を広げます。

### 新規 玖波小学校施設整備事業

12,700 千円 予算書 139 担当 総務学事課

児童と教職員の安全と適切な教育環境を確保するため、今後、玖波小学校に耐震対策を行います。平成25年度は校舎の耐力度調査、地質調査を実施し、基本構想を策定します。

## 拡充 学校給食運営事業

72,527 千円 予算書 161~162 ページ 担当 総務学事課  
98

給食センターによる市内全小中学校への給食を開始します。調理・配送業務は、民間事業者へ委託します。これまで同様適切な栄養管理、衛生管理に努めるとともに、安全で安心な給食を実施します。（一部緊急雇用対策基金事業を活用しています。）

## 奨学金貸付事業

25,968 千円 予算書 135 ページ 担当 総務学事課

経済的な理由により修学の機会がなくなることを防ぐよう、学資の貸付を行います。

平成24年度から、市内に一定期間居住することを要件とした奨学金の返還免除制度を新たに導入し、制度の充実を図っています。

## こども相談室運営事業

7,118 千円 予算書 137 ページ 担当 総務学事課

家庭などで問題を抱えながら生活している子ども・保護者に対し、幼児期から青年期まで一貫した相談を実施できる場所を提供するとともに、不登校の児童・生徒に対し、学習・生活面での支援を行い自立への基礎を培います。

※ 26~27 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

## 放課後子ども教室事業(放課後子どもプラン)

4,200 千円 予算書 144 ページ 担当 生涯学習課

次世代育成支援事業として、地域や各団体・企業などと連携し、「放課後こども教室」を開催します。地域の方々の協力を得て、放課後や週末などを利用して、子どもたちに学習機会や体験活動の場を提供します。

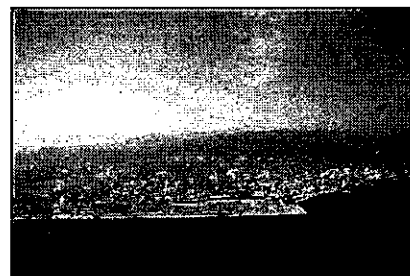
## 放課後児童クラブ事業(放課後子どもプラン)

31,371 千円 予算書 148 ページ 担当 生涯学習課

保護者が仕事等で昼間家庭にいない児童について、市内3ヶ所の「放課後児童クラブ」において、放課後や長期休暇中に遊びや生活指導を行い、仕事と子育ての両立支援を行います。

※ 26~27 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

## 2 生活基盤が整ったまちづくり



地域産業の振興



暮らしやすい生活基盤の整備

## 新規 木野まちづくり事業

133,038 千円 予算書 49 ページ 担当 自治振興課  
( 地域振興課 )

木野地区のまちづくりとして、旧木野小学校が持っていた文化や地域交流の中核機能を補完するため、地域活動の拠点となる木野集会所を建設します。

## 新規 公衆便所設置事業

33,118 千円 予算書 84 ページ 担当 (産業振興課 地域振興課)

蛇喰磐周辺に公衆便所を設置することにより、環境衛生・利便性の向上及び憩いの場の充実を図ります。

※ 25 ページの「平成25年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

## 新規 阿多田地区漁礁整備事業

8,754 千円 予算書 106 ページ 担当 (産業振興課 地域振興課)

沿岸漁業の振興と水産物の安定供給を目的として、漁礁の設置等の基盤整備を行います。  
平成25年度は、阿多田地区の実施設計業務を行います。

## 新規 養殖漁業技術開発支援事業

2,000 千円 予算書 106 ページ 担当 (産業振興課 地域振興課)

阿多田地区の養殖業を支援するため、流通・養殖技術・ブランドの確立について研究する費用を補助します。  
平成25年度は、阿多田島のハマチのブランド化について研究していきます。

## 新規 橋りょう長寿命化対策事業

7,700 千円 予算書 115 ページ 担当 土木課

橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、健全度の低い市道橋2橋について、橋りょうの修繕または更新を検討するために必要となる詳細な点検調査を行います。

## 新規 晴海臨海公園整備事業

551,317 千円 予算書 123 ページ 担当 都市計画課

隣接する商業地区と一体となって、子どもから高齢者まで多様な人々が、スポーツやレクリエーションなど憩い楽しめる公園として施設整備を行います。

平成25・26年度で野球場・テニスコート・管理棟を整備します。

※ 事業費には事務費を含みます。

※ 25 ページの「平成25年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

## 新規 さかえ公園整備事業

2,000 千円 予算書 124 ページ 担当 都市計画課

昭和46年の供用開始から40年以上経過し、公園施設は老朽化しています。このため、平成25年度は、利用者である地域住民の方々の思いや意見、アイデアをうかがうワークショップを行い、今後の公園のあり方を検討します。

※ 25 ページの「平成25年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

## 新規 御園市営住宅整備事業

16,000 千円 予算書 125 ページ 担当 都市計画課

高齢者対策等住宅施策に対応した住戸を整備します。  
平成25年度から開発設計業務を行います。

※ 25 ページの「平成25年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

## 地域公共交通整備事業(総合連携計画部分)

47,512 千円 予算書 48 ページ 担当 (自治振興課 市民課)

市民、事業者、行政等で構成する大竹市地域公共交通活性化協議会で策定した「大竹市地域公共交通総合連携計画」に基づき事業を展開します。

計画の基本方針である「住民自らが守り育てる」という視点を大切に、地域のみなさんと一緒に考えながら進めていきます。

具体的には、本格運行中の「こいこいバス」や「三ツ石地区乗合タクシー」をはじめ、既存の栗谷線・坂上線、広原・谷和タクシーへの助成を行います。また、実証運行中の3つのフィーダー(支線)交通(栄ぐるりんバス・湯舟のりあいタクシー・ひまわりタクシー)については、運行状況等を検証し、必要に応じて見直しを行い、本格運行への移行を目指した取り組みを進めます。

必要に応じて既存路線の見直しや、新たなフィーダー交通の検討・導入などを進めながら、利便性の向上と活性化に向けて、移動環境を整備します。

## 漁港整備事業(県営事業負担金)

3,334 千円 予算書 107 ページ 担当 監理課

広島県の施設である玖波漁港・阿多田漁港の整備を行います。

平成25年度は玖波漁港の施設の補修を行う予定です。県の事業であるため、市は県に対して一定割合の負担金を支出します。

## 工場等設置奨励・産業振興奨励事業

210,718 千円 予算書 109 ページ 担当 (産業振興課 地域振興課)

新たに立地や設備投資等を行った企業に対して奨励金を交付する制度により、本市への企業立地、市内企業の設備投資及び産業振興の促進を図ります。

## 中小企業経営安定支援事業

204,941 千円 予算書 109 ページ 担当 (産業振興課 地域振興課)

地場産業の育成や経営改善のための事業を支援します。また、中小企業者に必要な資金の融資を円滑にし、企業の信用を一層強化するとともに経済的地位の向上を図ります。中小企業経営者の負担を軽減するため、引き続き、広島県信用保証協会の保証料の一部を市が負担します。

## 住宅・建築物耐震診断・改修補助事業

1,100 千円 予算書 112 ページ 担当 都市計画課

平成21年度に策定した耐震改修促進計画に基づき、昭和56年5月31日以前に着工された市内の戸建住宅の耐震改修を促進するため、耐震診断及び耐震改修の助成を行います。耐震診断費用の2/3(上限3万円)・耐震改修費用の一部を補助します。

## 県道改良事業(県営事業負担金)

8,150 千円 予算書 116 ページ 担当 監理課

県道の整備を行います。施工中の大竹湯来線及び栗谷大野線の道路改良を行う予定です。県の事業であるため、市は県に対して一定割合の負担金を支出します。

## 玖波駅西口及び玖波36号線道路改良事業

69,500 千円 予算書 116~117 ページ 担当 土木課

JR玖波駅西側に改集札口を設けるために必要となる用地等及び駅西口広場と県道を接続する狭小道路の拡幅改良を行うために必要な用地等の買収を行います。

※ 25 ページの「平成25年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください



## 市道改良事業

44,073 千円 予算書 116~117 ページ 担当 土木課

交通の安全と道路環境の整備を図るため、市内各地の市道について補修・改良などを行います。		
本町6号線	9,500 千円	本町2丁目地区内の道路の側溝改良を行い、排水機能の向上及び暗渠化による道路幅員の有効利用を図ります。
本町元町1号線	10,000 千円	元町3, 4丁目地区内の道路の側溝改良を行い、排水機能の向上及び暗渠化による道路幅員の有効利用を図ります。
青木線	8,400 千円	道路改良用地等の買収を行います。
測量設計委託料等	16,173 千円	市道改良等に必要の測量及び設計を行います。

※ 25 ページの「平成25年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

## 港湾整備事業(県営事業負担金)

56,050 千円 予算書 120 ページ 担当 監理課

広島県の施設である大竹港の整備を行います。 平成25年度は、防波堤基礎工(小方地区)及び護岸工事の調査設計等(御幸地区)を行う予定です。県の事業であるため、市は県に対して一定割合の負担金を支出します。	
---	--

## 大竹駅東口広場整備事業

91,380 千円 予算書 122 ページ 担当 都市計画課

大竹駅を橋上駅化し、JR山陽本線で分断されている中心市街地の東西間を跨線橋(こせんきょう)の自由通路で結び、さらに駅東口側に交通広場を整備をする計画です。 平成25年度は、JR貨物代替え道路の用地補償及び関係機関等との協議を行います。	
--	--

※ 25 ページの「平成25年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

## 南栄下白石線外1路線道路改築事業

28,200 千円 予算書 122 ページ 担当 都市計画課

元町、本町、白石地区から国道186号及び国道2号へのアクセス道路を整備します。交通ネットワークを構築するとともに、沿道周辺における健全な市街地の整備及び良好な住環境の創出を促します。

※ 25 ページの「平成25年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

## 住宅リフォーム補助事業

7,000 千円 予算書 125 ページ 担当 都市計画課

子ども、高齢者、障害者及びその同居者の住居内での事故防止、負担軽減、団らんなど生活環境の向上を図ることにより安全に安心して快適に住み続けられるよう、子育て世帯、高齢者世帯、障害者世帯の住宅リフォームに要する費用の一部を助成します。

【土地開発公社】

## 岩国大竹道路用地取得事業

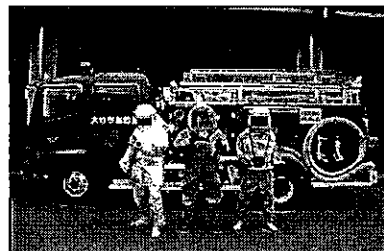
担当 監理課

引き続き、岩国大竹道路建設に伴う用地の先行取得に取り組めます。先行取得については、大竹市土地開発公社が国から受託して行います。(※国の事業のため、事業費は計上していません)

### 3 安全なまちづくり



防災・防犯・交通安全の対策



救急・防災体制の充実

#### 新規 化学機動隊整備事業

1,054 千円 予算書 127～129 ページ 担当 消防本部

重大な化学災害に対応する、専門知識を持った精鋭部隊として「化学機動隊(大竹ハズマツト)」を立上げ、万が一重大な災害が発生した場合、市民の安全を確保し、安心して暮らせるまちを構築することを目指します。

#### 新規 防災訓練実施事業

200 千円 予算書 132 ページ 担当 総務課

防災関係機関が相互に連携・協働し、また市民も避難活動等の形で参加する訓練を行うことによって、防災意識の高揚を図ります。

#### 拡充 消防ポンプ車整備事業

42,404 千円 予算書 128 ページ 担当 消防本部

消防署のポンプ自動車を更新します。

#### 拡充 水防体制整備事業

14,046 千円 予算書 131 ページ 担当 総務課

前年度の土砂・洪水・高潮に引き続き作成する地震災害・津波災害のハザードマップや水防活動に必要な資機材等の整備を行い、防災意識の高揚を図ります。

#### 消費者生活相談業務(大竹市消費生活センター)

3,261 千円 予算書 108 ページ 担当 (産業振興課 地域振興課)

架空請求、訪問販売、インターネット販売上でのトラブル、クーリングオフ相談など、専門相談員が消費生活に関する相談に応じるとともに、消費生活問題の啓発・PRを行い、トラブルを未然に防ぐよう努めます。

※ 26～27 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

#### 水路改良事業

23,600 千円 予算書 118 ページ 担当 土木課

元町南栄排水路について護岸改良が必要な下流区域の工事を行い、河川機能の保全に努めると共に、市内各地の水路等の補修・改良などを行います。

※ 25 ページの「平成25年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

#### 急傾斜地崩かい対策事業

16,000 千円 予算書 118～119 ページ 担当 土木課

急傾斜地崩かい危険個所において、住宅地背後の崖面崩かいを防止するための擁壁等を設置し、土砂災害から市民の生命を守り、安全で住みやすい生活環境整備を図ります。

平成25年度は立戸地区において崩かい対策工事を実施します。また、木野地区において崩かい対策工事のための調査設計を行います。

※ 事業費には事務費を含みます。

※ 25 ページの「平成25年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

## 急傾斜地崩かい対策事業(県営事業負担金)

6,500 千円 予算書 119 ページ 担当 監理課

玖波地区、立戸地区及び阿多田地区の急傾斜地崩かい対策事業を行います。県の事業であるため、市は県に対して一定割合の負担金を支出します。

## 消防団車両整備事業

6,788 千円 予算書 131 ページ 担当 消防本部

老朽化した第6分団(三ツ石地区)の可搬式動力ポンプ付き積載車を更新します。



## 4 安心できるまちづくり



心が触れ合う福祉の充実



生涯元気な心と体づくり

## 新規 福祉避難所運営事業

206 千円 予算書 62 ページ 担当 社会健康課 (福祉課)

市内に災害が発生した場合などに高齢者や障害者等、一般の避難所では避難生活が困難な住民が安心して避難できる介助機能の整った福祉避難所(ゆうあいホーム)の運営に取り組みます。

## 新規 障害者(児)福祉施設開設等補助事業

6,000 千円 予算書 63 ページ 担当 福祉課

障害者(児)へのサービスの充実を目的とし、生活介護、就労継続支援、就労移行支援のサービスを法人が市内で事業展開できるよう支援を行います。

## 新規 三次救急医療施設運営事業

8,966 千円 予算書 80 ページ 担当 社会健康課 (保健介護課)

生命の危険がある重篤な患者の診療を行う三次救急医療施設である J A 広島総合病院の救命救急センターの運営費の一部を廿日市市と共同で支援することにより、市民の医療と安心安全を確保します。

## 新規 健康増進計画及び食育推進計画策定事業

4,864 千円 予算書 81~82 ページ 担当 社会健康課 (保健介護課)

健康で自立した生活ができる「健康寿命」を延ばすため、予防を重視し、様々な観点から健康をとらえ、新たな健康増進計画を策定します。  
また、食育推進計画を策定し、食に関する知識や食生活を正しく市民へ広め、効果的に健康づくりを推進します。

## 拡充 予防推進事業

77,340 千円 担当 社会健康課 (保健介護課)

発病や重症化を予防することは、市民の生命や、健康で自立した生活を維持するために大変重要であり、また医療費の抑制にもつながることから、様々な疾病やけがなどへの予防の取り組みを強化していきます。

予防接種事業 【予算書80~81頁】	74,797 千円	麻疹・風しんや結核、ポリオ、インフルエンザなど、感染の恐れがある疾病の発生や蔓延を予防するために予防接種を行います。インフルエンザ菌b型、小児用肺炎球菌、子宮頸がん等のワクチンについても接種を行います。 また、高齢者向けの肺炎球菌ワクチンの接種費用助成対象者を、75歳以上から65歳以上に拡充し、高齢者の肺炎予防に努めます。
在宅寝たきり高齢者等訪問歯科診療促進事業 【予算書82頁】	2,543 千円	寝たきりの方にとって、食事を自分で噛んで食べることが、栄養面で身体機能の維持に大きく影響することから、歯科医師による訪問歯科健康診査や、歯科衛生士による口腔ケアなどを行い、全身状態の改善や生活自立の向上を図ります。

## 拡充 健康増進事業

49,594 千円 担当 社会健康課 (保健介護課)

生活習慣病やその他の心身の健康に関する事項について正しい知識の普及により、市民の健康意識を高めるとともに、医療機関等と連携して市民の健康の保持及び増進を図ります。

がん検診事業 【予算書81~82頁】	14,630 千円	女性特有のがん検診（子宮頸がん・乳がん）や、大腸がん検診を行います。 肺がん個別検診を医師会と協力しながら取り組む予定です。
一般健診、肝炎ウイルス検診事業 【予算書80~81頁】	6,274 千円	後期高齢者等を対象に健康診査を実施し、生活習慣病予防及び疾病等の早期発見・早期治療を図ります。 また、満40歳以上で過去に肝炎ウイルス検診未受信者を対象に実施します。
【国民健康保険特別会計】 特定健康診査・ 特定保健指導 【予算書204頁】	19,596 千円	40歳~74歳の国民健康保険被保険者に対して、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健診及び保健指導を実施し、生活習慣病の予防、改善を図ります。
健康相談事業 【予算書81頁】	192 千円	健康診査の事後措置として、保健師や栄養士による個別相談を行い、病気の発生や重症化の予防を図ります。
訪問指導事業 【予算書81頁】	86 千円	保健師などによる家庭への訪問指導を行い、健康に関する問題を総合的に把握し、生活改善などの必要な指導を行うことで、疾病の予防を図ります。
健康教育事業 【予算書81頁】	278 千円	生活習慣病などの疾病を予防するため、講座や講演会、パンフレット配付などによる啓発を通じて、健康に関する正しい知識の普及を図ります。
後期高齢者人間ドック費用助成事業 【予算書82頁】	2,428 千円	後期高齢者医療被保険者に対して、人間ドック・脳ドックの検診費用を一部助成し、生活習慣病の予防及び疾病等の早期発見並びに早期治療を図ります。
新規 糖尿病対策推進事業 【予算書98頁】 （緊急雇用対策基金事業を活用）	6,110 千円	脳卒中や心臓病など命に関わる病気のほか、失明や人工透析など日常生活に重大な支障をもたらす病気を発症させる原因となる糖尿病の予防又は重症化を防止することにより、市民の健康の保持及び増進を図るとともに医療費の増大を抑制します。

【介護保険特別会計】

**地域密着型サービス事業**

**451,436 千円 予算書 281 ペー 担当** 社会健康課  
( 保健介護課 )

介護が必要な方がなじみの地域で生活できるようなサービスを提供します。基本的に、大竹市民のみが利用可能な介護保険の対象事業所・施設で行われるサービスです。

**医療・介護予防一体推進事業**

**19,371 千円** 担当 社会健康課  
( 保健介護課 )

健康増進の取り組みと介護予防の取り組みを、様々なプログラムを通じて一体的に行うことにより、介護が必要な方の自立支援を強化するとともに、健康的な市民生活の維持・促進につなげます。

【国民健康保険特別会計】 ヘルスアップ事業 【予算書205分】	2,090 千円	日常生活に運動を取り入れ、健康的な生活が送れるように運動教室等を実施します。
【介護保険特別会計】 介護予防事業 【予算書283～284分】	17,281 千円	筋力トレーニングや栄養指導などの介護予防に重点を置くことで、介護が必要な状態になることを防ぎ、できる限り自立した生活が送れるよう支援します。

**ケーブルテレビ見守りサービス事業**

**351 千円 予算書 66 ペー 担当** 企画財政課

ケーブルテレビのネットワークを活用して、一人暮らし高齢者や離れて暮らす家族などの安心感を高めます。自宅のテレビに専用チューナー（STB）を設置してもらい、毎日電源を入れることで、離れて暮らす家族の携帯電話等へ自動的にメール配信するサービスです。

普段の生活の中で大きな負担をかけず、気軽に見守りができる「安心なまちづくり」を進めます。

**乳幼児等医療費助成事業**

**49,025 千円 予算書 70～71 ペー 担当** 保険介護課  
( 保健介護課 )

乳幼児及び小学生に対する医療費の自己負担額の一部を助成することにより、疾病の早期発見と治療の促進を図り、乳幼児などの健やかな成長を促します。県制度の改正に準じて、平成16年10月から入院・通院ともに一部負担制を導入し、対象を段階的に拡大していきました。平成22年度から入院・通院ともに小学校卒業までを対象としています。

**家庭児童相談事業**

**7,658 千円 予算書 74～75 ペー 担当** 福祉課

0歳から18歳未満の児童における養護、障害、非行、育成等の問題について、専門知識を有する相談員が相談・助言を行います。

※ 26～27 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

## 子育て支援センター運営事業

15,491 千円 予算書 75～76 ページ 担当 福祉課

地域全体で子育てを支援する環境づくりを行う拠点として、立戸地区の子育て支援センター（どんぐりHOUSE）、栄地区のさかえ子育て支援センター、松ヶ原こども館において、育児不安に対する相談指導や子育てサークルなどの育成・支援を行います。

※ 26～27 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

## 救急医療施設人材(助産師等)育成支援事業

753 千円 予算書 80 ページ 担当 社会健康課  
(保健介護課)

広島西二次保健医療圏（大竹市・廿日市市）の拠点病院であるJA広島総合病院の産科医療体制等を充実させるため、不足している助産師及び看護師を育成・確保する同病院実施の人材確保事業（奨学金制度）に対して補助を行います。

## 妊婦乳幼児健康診査事業

20,873 千円 予算書 86～87 ページ 担当 社会健康課  
(保健介護課)

妊婦並びに乳幼児の健康の保持・増進を図るため、妊婦健康診査並びに乳幼児健康診査の受診券を配付します。異常の早期発見を促すとともに、一層の母子の健康維持・増進を図ります。

## 妊産婦健康診査等支援事業

5,588 千円 予算書 87 ページ 担当 社会健康課  
(保健介護課)

大竹に暮らしながら、安心して出産に備えることができるよう、出産費用等の一部を助成します。妊婦健康診査の受診回数に応じて助成することにより、妊婦健康診査の受診を促し、より安全な出産が行えるように支援します。

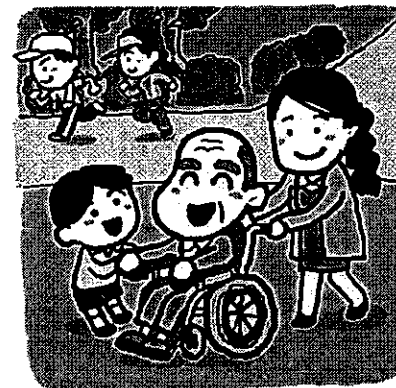
【介護保険特別会計】

## 地域包括支援センター運営事業

29,376 千円 予算書 284 ページ 担当 保険介護課  
(保健介護課)

地域の高齢者に対して、介護が必要な状態にならないよう介護予防ケアマネジメントを行ったり、介護保険外のサービスを含む高齢者や家族への総合的な相談・支援を行ったり、高齢者の虐待防止などの権利擁護を行うほか、ケアマネジャーへの支援などを行います。

※ 26～27 ページの「各施設のご案内」をご覧ください



## 5 心にゆとりを感じるまちづくり



心の豊かさを育む取り組み

大竹らしさを育む文化と交流

きれいで快適なまちづくり

### 新規 ごみ減量化・資源化促進事業

22,883 千円 予算書 92～94 ペー 担 リサイクルセンター  
98 ジ 当 ( 環境整備課 )

一般家庭から排出されるごみの減量化を図るため、ごみ処理手数料を導入し、燃やすごみの減量化に努めます。具体的には、燃やすごみの減量化として、生ごみの堆肥化を進めるため、生ごみ処理容器の普及・促進を行います。資源化では、剪定枝をチップ化し、腐葉土にする事業を支援します。また、市民への情報提供のため、ごみ減量等講習会を開催します。さらに、回収システムを充実するため、公共施設を利用した拠点回収の開始、また、廃棄物処理の適正化を図るための計画の策定にも取り組みます。(一部緊急雇用対策基金事業を活用しています。)

### 新規 アゼリアホール改修事業

14,200 千円 予算書 152 ペー 担 生涯学習課

大竹会館講堂(アゼリアホール)の正面階段に手すりを設置し、多目的トイレに改修するなど、バリアフリー化・ユニバーサルデザイン化を図ります。

### 新規 小方学園プール開放事業

2,921 千円 予算書 159～160 ペー 担 生涯学習課

新しく整備された小方学園の屋内プールを広く市民に開放し、市民の健康増進と水泳振興を図ります。

### 環境美化推進事業

3,000 千円 予算書 83 ペー 担 環境整備課

きれいで快適なまちづくりを推進するため、地域に密着した環境美化活動に取り組んでいる「公衆衛生推進協議会」の活動を引き続き支援します。ごみステーションの維持・管理をはじめ啓発看板の配付や花いっぱい運動などの事業への取り組みを支援します。

### 地域不法投棄対策事業

8,182 千円 予算書 83 ペー 担 リサイクルセンター  
当 ( 環境整備課 )

地域の快適な生活環境を守るため、地域住民や警察と連携し不法投棄防止の活動に向けての取り組みを行います。不法投棄防止にむけた広報啓発活動や監視パトロール、不法投棄廃棄物処理などに加え、今後も、市内に監視カメラを増設し、不法投棄防止に向けた取り組みを強化します。また、公衆衛生推進協議会の不法投棄防止に向けた活動を引き続き支援します。

## 市民文化講演会

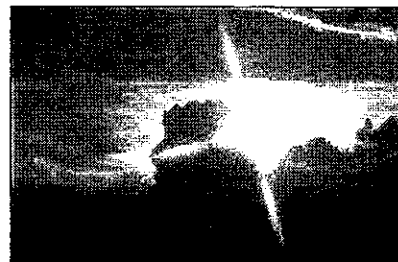
1,950 千円 予算書 144 ペー 担当 生涯学習課

現代社会における課題や大竹市が抱える課題の解決のヒントになるような講師を招き、今後のまちづくり・ひとづくりに繋がる講演会を行います。

## 6 行政・社会の仕組みづくり



市民自治の促進



健全な行財政運営の推進

## 拡充 市民活動支援事業

5,565 千円 予算書 43 ペー 担当 自治振興課  
( 地域振興課 )

市民活動団体が地域の課題解決のため自ら提案・実施する事業を公募し、助成を行うことにより、市民活動の自主性の向上を図ります。

平成25年度からは施設整備等のハード事業を対象に加えます。

## 地区集会所整備事業

854 千円 予算書 46 ペー 担当 自治振興課  
( 市民課 )

コミュニティ活動の拠点である自治会が設置する地区集会所の整備を支援することで、コミュニティ活動を促進し市民自治の振興を図ります。

また、地区集会所だけでなく、自治会が所有している施設・設備等についても、地域住民が主体的に補修（新設を含む）する場合は、原材料費を補助します。

## コミュニティづくり推進事業

7,960 千円 予算書 46 ペー 担当 自治振興課  
( 市民課 )

地域の連帯を深め、住みよい地域社会の形成に向けて取り組んでいるコミュニティづくり推進協議会の活動に対して助成を行います。

「コイ・こいフェスティバル・イン・おおたけ」の開催を支援するとともに、市民発信型の事業運営を目指した取り組みを進めます。

また、宝くじの財源を活用し、コミュニティ推進団体が行う備品の整備に対して補助します。

## 土地開発公社経営健全化事業

19,620 千円 予算書 112 ペー 担当 監理課

土地開発公社が保有する土地の簿価上昇抑制のため、債務保証対象土地等に係る借入金の利子補給を行います。



## 土地造成支援事業

261,165 千円 予算書 113 ペー 担当 企画財政課

大竹工業団地に立地した工場に賦課される固定資産税額に相当する額及び小方ヶ丘の土地・家屋・償却資産に係る固定資産税額に相当する額の26.5%と従来支援分(95,800千円)及び土地造成特別会計に関連のある土地売却収入の一部を大願寺地区土地造成事業の円滑な推進のため土地造成特別会計へ繰り出します。

## 7 住みたい、住んでよかったと感じるまち

新規 広島県緊急雇用対策基金事業(重点分野雇用創出事業)

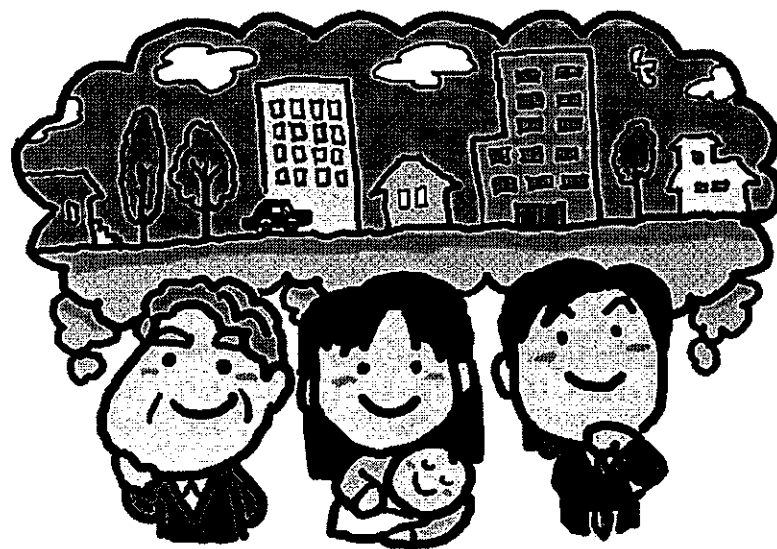
21,802 千円 予算書 98 ペー 担当 産業振興課  
( 地域振興課 )

厳しい経済情勢や雇用環境の悪化への対策として、失業者に対する短期の雇用・就業機会の創出・提供を図ることを目的として、市民健康づくり、ごみ減量、地域の魅力発見・発信、協働のまちづくり、食育推進、マロンの里活性化に関する事業を実施します。(事業費の一部は再掲)

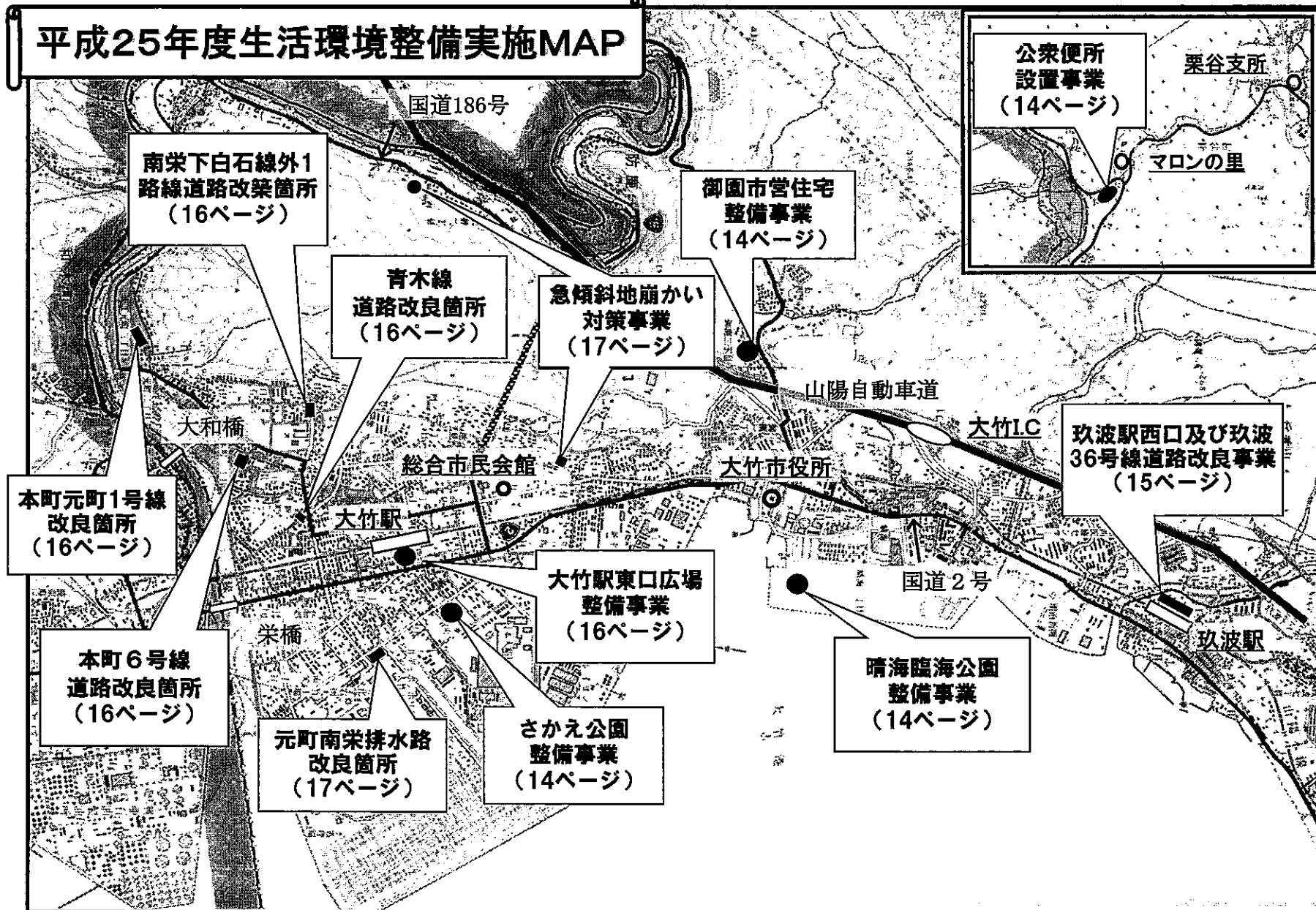
## ケーブルテレビ施設利用促進助成事業

2,000 千円 予算書 49 ペー 担当 企画財政課

定住対策として「生活基盤が整ったまちづくり」のために整備した情報基盤を、より有効に活用するため、ケーブルテレビへの加入を支援します。また、市内での新築(建替含む)の際に、ケーブルテレビに新規加入する場合、初期費用の一部を補助します。



# 平成25年度生活環境整備実施MAP



## 各施設のご案内

※ 電話番号は平成25年3月31日までのものです

### 放課後児童クラブ

13ページ

- ・あすなろ児童クラブ（玖波七丁目1-1（玖波小学校内））
- ・みどり児童クラブ（小方ヶ丘1-2（小方学園内））
- ・ひかり児童クラブ（白石二丁目1-2（大竹小学校内））

【対象】 市内小学校1～3年生であって、保護者が仕事等の理由により昼間家庭にいない児童、及びこれに順ずる児童（この規定にかかわらず特例あり）

【利用時間】 ≪平日≫ 下校時～18時

≪土曜・長期休暇（春・夏・冬休み）≫ 8時～18時

【問い合わせ先】 生涯学習課青少年育成係（℡53-5800）

### 大竹市こども相談室

13ページ

≪相談業務≫ いじめ、不登校などの教育に関する相談、子どもの性格上の問題、非行、児童への虐待などの子どもについての様々な相談に応じます。

≪適応指導≫ 学校と家庭の中間的な役割を担い、児童・生徒の学習する場の提供や、自立に向けたきめ細やかな支援を行います。

【場所】 大竹市立戸一丁目8-5（総合市民会館・山側）

【利用時間】 月～金曜日の8時30分～17時15分

【電話】 54-0021

### 大竹市家庭児童相談室

20ページ

≪相談業務≫ 家庭で養育困難な児童の養護、障害、非行、育成に関する、0歳から18歳未満の子どもについての様々な相談に応じます。

【場所】 大竹市小方一丁目11-1（大竹市役所内）

【利用時間】 月～金曜日の9時～16時

【電話】 59-2151 または 59-2148（福祉課児童係）

### 子育て支援センター「どんぐりHOUSE」

21ページ

【対象】 市内在住の小学校就学前の子どもと保護者、子育てボランティアの方

【場所】 大竹市立戸一丁目8-5（総合市民会館・山側）

【利用時間】 月～金曜日 10時～16時30分

【問い合わせ先】 子育て支援センター（℡54-0021）  
福祉課児童係（℡59-2148）

## 各施設のご案内

※ 電話番号は平成25年3月31日までのものです

### さかえ子育て支援センター

・・・

21ページ

【対象】 市内在住の小学校就学前の子どもと保護者、子育てボランティアの方

【場所】 大竹市西栄三丁目12-25(さかえ保育所敷地内)

【利用時間】 月～金曜日 10時～16時30分

【問い合わせ先】 さかえ子育て支援センター(TEL53-9766)福祉課児童係(TEL59-2148)

### つどいの広場 松ケ原こども館

・・・

21ページ

【場所】 大竹市松ケ原町445-2

【利用時間】 月・水・金曜日 10時～16時

(※臨時休館日有り(月1～2日程度))

【問い合わせ先】 松ケ原こども館(TEL57-8333) 福祉課児童係(TEL59-2148)

【ホームページアドレス】 (パソコンから) <http://honobonon.client.jp/> (携帯電話から) <http://honobonon.client.jp/mobile/>

### 大竹市地域包括支援センター

・・・

21ページ

《事業内容》 ○要介護認定で「要支援1・2」と認定された方や二次予防対象者の介護予防ケアプランの作成などの介護予防ケアマネジメント

○高齢者や家族に対する総合的な相談・支援事業(介護保険外のサービスを含む)

○高齢者に対する虐待の早期発見・防止、成年後見制度の活用などの高齢者の権利擁護事業

○関係機関や地域における連絡・協力体制の構築と支援困難事案のケアマネジャーへの支援

【場所】 大竹市西栄二丁目4-1(総合福祉センター(サントピア大竹)内)

【利用時間】 月～土曜日の8時30分～17時15分 【電話】 53-1165

### 大竹市消費生活センター

・・・

17ページ

《相談業務》 訪問・通信・電話勧誘販売等による売買・契約に関するトラブル、はがき、携帯電話、インターネットを使った不当・架空請求、その他消費生活全般、クーリングオフについての相談など

【場所】 大竹市小方一丁目11-1(大竹市役所内)

【受付時間】 火・金曜日 9時～12時、13時～16時

【電話】 57-3236

## 各施設のご案内

※ 電話番号は平成25年3月31日までのものです

### 放課後児童クラブ

13ページ

- ・あすなろ児童クラブ（玖波七丁目1-1（玖波小学校内））
- ・みどり児童クラブ（小方ヶ丘1-2（小方学園内））
- ・ひかり児童クラブ（白石二丁目1-2（大竹小学校内））

【対象】 市内小学校1～3年生であって、保護者が仕事等の理由により昼間家庭にいない児童、及びこれに順ずる児童（この規定にかかわらず特例あり）

【利用時間】 ≪平日≫ 下校時～18時

≪土曜・長期休暇（春・夏・冬休み）≫ 8時～18時

【問い合わせ先】 生涯学習課青少年育成係（TEL53-5800）

### 大竹市こども相談室

13ページ

≪相談業務≫ いじめ、不登校などの教育に関する相談、子どもの性格上の問題、非行、児童への虐待などの子どもについての様々な相談に応じます。

≪適応指導≫ 学校と家庭の中間的な役割を担い、児童・生徒の学習する場の提供や、自立に向けたきめ細やかな支援を行います。

【場所】 大竹市立戸一丁目8-5（総合市民会館・山側）

【利用時間】 月～金曜日の8時30分～17時15分

【電話】 54-0021

### 大竹市家庭児童相談室

20ページ

≪相談業務≫ 家庭で養育困難な児童の養護、障害、非行、育成に関する、0歳から18歳未満の子どもについての様々な相談に応じます。

【場所】 大竹市小方一丁目11-1（大竹市役所内）

【利用時間】 月～金曜日の9時～16時

【電話】 59-2151 または 59-2148（福祉課児童係）

### 子育て支援センター「どんぐりHOUSE」

21ページ

【対象】 市内在住の小学校就学前の子どもと保護者、子育てボランティアの方

【場所】 大竹市立戸一丁目8-5（総合市民会館・山側）

【利用時間】 月～金曜日 10時～16時30分

【問い合わせ先】 子育て支援センター（TEL54-0021）  
福祉課児童係（TEL59-2148）

## 各施設のご案内

※ 電話番号は平成25年3月31日までのものです

### さかえ子育て支援センター

・・・

21ページ

【対象】 市内在住の小学校就学前の子どもと保護者、子育てボランティアの方

【場所】 大竹市西栄三丁目12-25(さかえ保育所敷地内)

【利用時間】 月～金曜日 10時～16時30分

【問い合わせ先】 さかえ子育て支援センター(TEL53-9766)福祉課児童係(TEL59-2148)

### つどいの広場 松ケ原こども館

・・・

21ページ

【場所】 大竹市松ケ原町445-2

【利用時間】 月・水・金曜日 10時～16時

(※臨時休館日有り(月1～2日程度))

【問い合わせ先】 松ケ原こども館(TEL57-8333) 福祉課児童係(TEL59-2148)

【ホームページアドレス】 (パソコンから) <http://honobonon.client.jp/> (携帯電話から) <http://honobonon.client.jp/mobile/>

### 大竹市地域包括支援センター

・・・

21ページ

《事業内容》 ○要介護認定で「要支援1・2」と認定された方や二次予防対象者の介護予防ケアプランの作成などの介護予防ケアマネジメント

○高齢者や家族に対する総合的な相談・支援事業(介護保険外のサービスを含む)

○高齢者に対する虐待の早期発見・防止、成年後見制度の活用などの高齢者の権利擁護事業

○関係機関や地域における連絡・協力体制の構築と支援困難事案のケアマネジャーへの支援

【場所】 大竹市西栄二丁目4-1(総合福祉センター(サントピア大竹)内)

【利用時間】 月～土曜日の8時30分～17時15分 【電話】 53-1165

### 大竹市消費生活センター

・・・

17ページ

《相談業務》 訪問・通信・電話勧誘販売等による売買・契約に関するトラブル、はがき、携帯電話、インターネットを使った不当・架空請求、その他消費生活全般、クーリングオフについての相談など

【場所】 大竹市小方一丁目11-1(大竹市役所内)

【受付時間】 火・金曜日 9時～12時、13時～16時

【電話】 57-3236

## ◇問い合わせ先一覧◇

※ 平成25年3月31日までのものです。

## 総務企画部

総務課 《Eメール》	総務係	59-2120
	防災係	59-2119
	職員秘書係	59-2122
	soumu@city.otake.hiroshima.jp	

企画財政課 《Eメール》	企画係	59-2125
	財政係	59-2121
	広報統計係	59-2124
	人権推進係	59-2145
	kikaku@city.otake.hiroshima.jp	

地域振興課 《Eメール》	農林水産振興係	59-2130
	商工振興係	59-2131
	地域振興係	59-2132
	chiiki@city.otake.hiroshima.jp	

会計課 《Eメール》	会計係	59-2182
	kaikei@city.otake.hiroshima.jp	

選挙管理委員会事務局 《Eメール》		59-2188
	senkyo@city.otake.hiroshima.jp	

農業委員会事務局 《Eメール》		59-2190
	nougyo@city.otake.hiroshima.jp	

監査事務局 《Eメール》		59-2189
	kansa@city.otake.hiroshima.jp	

## 市民生活部

福祉事務所		
福祉課 《Eメール》	地域福祉係	59-2152
	障害福祉係	59-2146
	児童係	59-2148
	保護係	59-2147
	fukushi@city.otake.hiroshima.jp	

保健介護課 《Eメール》	保健予防係	59-2140
	国保医療係	59-2141
	介護高齢者係	59-2144
	hoken@city.otake.hiroshima.jp	

市民課 《Eメール》	市民年金係	59-2142
	戸籍住民係	59-2143
	shimin@city.otake.hiroshima.jp	

税務課 《Eメール》	収税係	59-2127
	市民税係	59-2128
	固定資産税係	59-2129
	zeimu@city.otake.hiroshima.jp	

議会事務局 《Eメール》	議事係	59-2183
	庶務係	
	gikai@city.otake.hiroshima.jp	

上下水道局 《Eメール》	業務課	59-2191
	工務課	59-2192
	jougesui@city.otake.hiroshima.jp	

## 都市環境部

監理課 《Eメール》	庶務係	59-2160
	用地係	59-2161
	kanri@city.otake.hiroshima.jp	

土木課 《Eメール》	管理係	59-2163
	維持係	59-2164
	工務係	59-2165
	doboku@city.otake.hiroshima.jp	

都市計画課 《Eメール》	住宅係	59-2166
	計画整備係	59-2167
	建築係	59-2168
	toshikei@city.otake.hiroshima.jp	

環境整備課 《Eメール》	環境対策係	52-5224
	廃棄物対策係	52-5101
	kankyo@city.otake.hiroshima.jp	

## 教育委員会事務局

総務学事課 《Eメール》	教育総務係	59-2184
	教育指導係	59-2185
	こども相談室	54-0021
	sougaku@city.otake.hiroshima.jp	

生涯学習課 《Eメール》	社会教育係	53-5800
	青少年育成係	
	施設スポーツ係	53-6677
	seigaku@fch.ne.jp	

消防本部 《Eメール》		53-7708
	shoubou@city.otake.hiroshima.jp	

【代表電話】	59-2111
【FAX】	57-7130(本庁)
【Eメールアドレス(代表)】	info@city.otake.hiroshima.jp
【ホームページアドレス】	http://www.city.otake.hiroshima.jp